

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

お山参詣集団登拝

本部事務局長 東谷 康生

令和7年9月21日(日) 社会福祉法人七峰会として、今年も秀峰岩木山へ5度目となる集団登拝をさせていただきました。

参詣当日は、法人職員約120名にて、高さ7メートル超の五色幟(五色のぼり)2本と神号幟(白色のぼり)2本、御幣30本、餅や酒などの供物を連ねて岩木山神社を目指して歩をすすめました。

『弘前市熊嶋(障がい者総合支援センター 拓心館)』を出発したところ、強風が吹き付け、御幣や幟が風に煽られる場面もありましたが、沿道の皆さまからの温かい拍手や労いのお言葉を頂戴しながら、歩き続けることが出来ました。その後、車輦にて『旧百沢小学校』まで移動し、再び『岩木山神社』を目指して歩き、万事滞りなく参詣を終えることができました。

この『お山参詣』は、昭和59年に国の重要無形民俗文化財として指定を受けた由緒ある神事であり、津軽一円から多数の参詣者が岩木山を目指して集うことから、津軽地方最大の秋祭りとも評される祭事でもあります。

七峰会では『社会福祉法人としての地域貢献・岩木山や旧岩木町への恩返しとして地元最大の秋祭りを継承する』『法人職員としての一体感醸成…どの施設から必ず拝むことのできる岩木山への参詣にて職員間の交流を図る』という目的実現のため、参詣当日まで準備をすすめて参りました。

毎年のこととなりますが、集団登拝を終え、微力ながら岩木山や旧岩木町への恩返しができ、また法人職員の一体感醸成も実現出来たものと捉えています。当法人では、今後も継続して『お山参詣』集団登拝に参加して参りますので、引き続き、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



山郷館弘前

みちのくプロレスに
大興奮！

障害者支援施設山郷館設

生活支援員 澤田 佳祐



8月11日（月）、弘前市河西体育センターにてみちのくプロレス弘前大会が開催され、青森県社会福祉協議会のご招待を受け、利用者さん5名で観戦に行きました。普段からスポーツ観戦やイベント行事に参加する機会の少ない入所利用者さんは、数日前から「楽しみだ。」「早く行きたい。」とわくわくする気

持ちを抑えられずにいました。

当日は、プロレス観戦が初めての方、過去に何度か見たことがある利用者さん半々で緊張した表情でしたが、熱い戦いが繰り広げられるうちに思わず応援の声が大きくなっており、とても盛り上がった様子でした。また、応援している選手が場外乱闘ですぐ近くまで来た際には「負けるな！」と声を出し相手選手への反撃が見られると嬉しそうな表情も見られていました。試合終了後は、グッズを購入し、選手との写真撮影やサインを貰ったりと良い思い出になりました。



今後もイベントや行事を通して利用者さんの笑顔や活動の幅が広がっていきけるよう努めていきます。

拓光園グループ

避難訓練

障害者支援施設拓光園

主任生活支援員 山口 純輝



9月2日（火）、山郷館弘前グループ、拓光園グループを利用する方々の緊急災害時における救助活動を目的として、避難訓練を行いました。今回の訓練は、拓光園での建物火災を想定

し、七峰会の施設職員に加えて、弥生町会、上弥生町会、杉山町会の地域住民、地区消防団の方々にご参加を頂きました。避難訓練を通じて、火事や地震など万が一の災害から利用者の安全を守るためには日頃の施設での防災対策、地域住民の皆様との連携が必要であると実感しました。訓練に参加された方々から頂いた助言を振り返り、地区の放送設備の活用や避難時の支援体制の整備に努めて参ります。

シリーズ「かだる」

障害者支援施設山郷館

生活支援員 松居 宣好

仕事をする上で大切にしていることは「リフレッシュ」。その方法は、人それぞれですが、私の場合はやっぱり山です。登山や山菜採りに出かけると、頭の中まで澄んだ空気に入れ替わるような気がします。中でも一年で最も熱くなるのは舞茸採り!!あの瞬間のワクワクは、まるで



宝探し。山郷館弘前周辺でも「ヌメリイグチ」や「ハタケシメジ」など食べられるキノコが顔を出し、図鑑を片手に夢中で調べてしまいます。気付けば「キノコ博士」と呼ばれる日も近いかもしれません。

利用者さん紹介

山郷館くろいし共同生活援助

生活支援員 今田 知里

今回ご紹介します利用者さんは『グループホームさくら山』で生活されている鎌田恵美子さんです。

鎌田さんの休日や就寝前を利用し



て、編み物や塗り絵などに取り組んでいます。

編み物がとても上手で、一つの商品をあつという間に完成させてしまいます。

最近クッションカバーを様々な糸を使い完成させていました。

ご本人は謙遜されていますが、作品展に出品できるような作品作りを頑張っています。



実りの秋

障害者支援施設青葉寮

生活支援員 新谷 亮太

地域の畑では、りんごが色づき始め、収穫を迎えようとしています。青葉寮では、さつまいも、長ネギ、シャインマスカットが最盛期を迎えようとしています。

その中でも、さつまいもは収穫の真っ最中となり、小さきまざまなものが獲れ、給食に提供され、好評をいただきました。

長ネギは畑の一角で青々と育ち、シャインマスカットは、今年の夏の暑さのためか成熟が例年よりも早く、すでに黄色味がかって、食べごろを迎えようとしています。

青葉寮の給食は様々な収穫物で彩りを増し、心も体も豊かにしてくれる秋の贈り物であふれています。



青葉寮産食材を使った給食

障害者支援施設青葉寮

管理栄養士 新谷 快

青葉寮の給食では畑で採れた食材を使い、利用者さんに提供しています。今年の秋はさつまいもがたくさん収穫されたのでさつまいもごはんにし、つみれ汁・ほっけのみりん焼き・もずくときゅうりの酢の物と一緒に提供しました。利用者さんからも「青葉の芋おいしいね」などの感想が聞かれとても好評でした。

春にはタラの芽を使用した天ぷらうどん、夏にはじゃが芋を使ったポテトチーズ焼きなど季節ごとの食材を活かした献立を楽しんでいただいています。これからも青葉寮で収穫された食材を取り入れながら利用者さんに喜んでもらえるような献立を考え、提供していきたいと思っています。



